

北九州e-PORT構想2.0 新ビジネス創出支援補助金 説明資料

平成31年4月5日

(公財)北九州産業学術推進機構
情報産業振興センター

e-PORT2.0とは

- 市場ニーズに対応しながら『①新ビジネスの創出』、『②地域産業の高度化』、『③情報産業の振興』の3つの取り組みを通じ**地域産業の発展**を行っていく産業施策

2015年2月発表

市場ニーズ

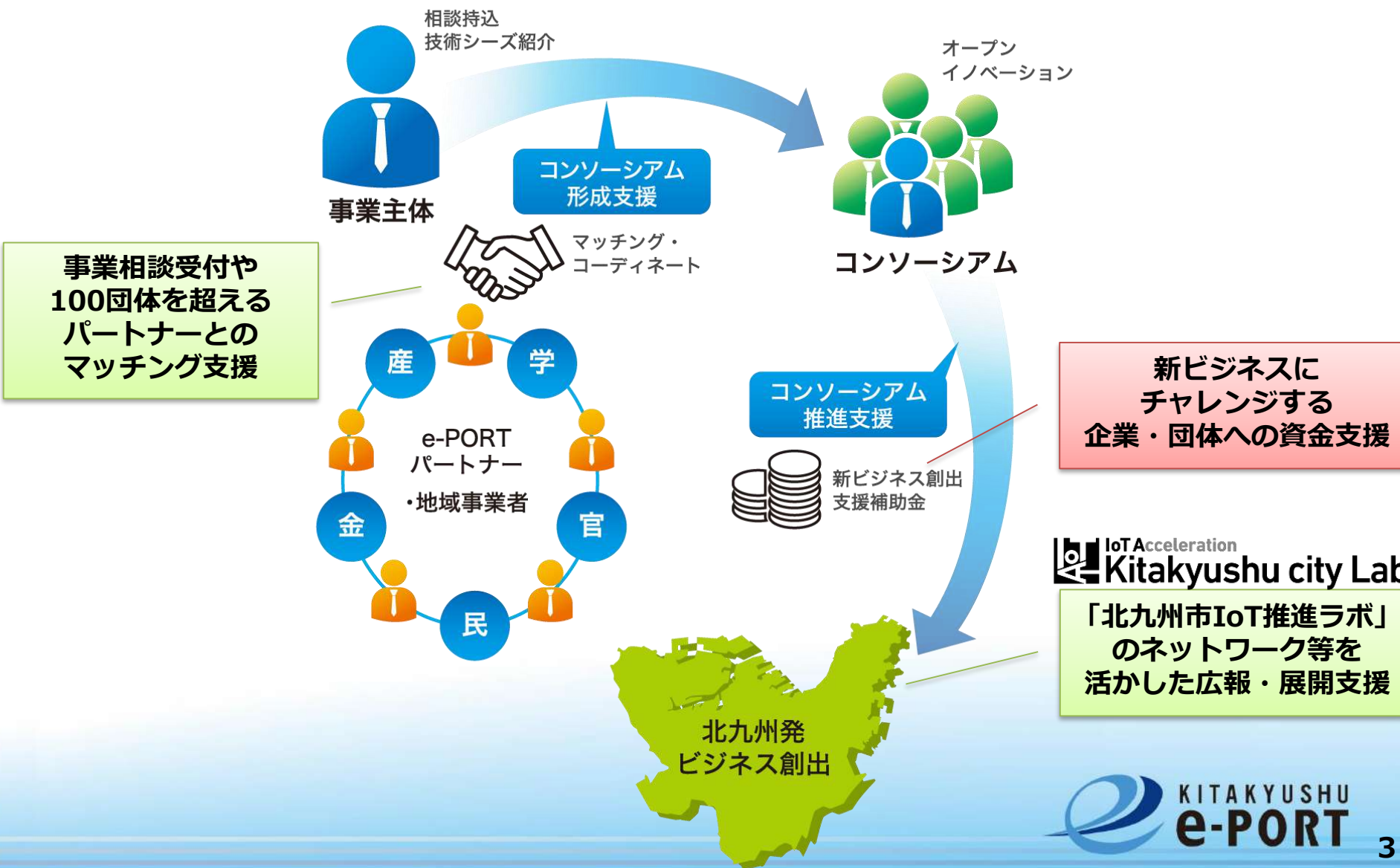
①新ビジネスの創出

②地域産業の高度化

③情報産業の振興

地域産業の発展

北九州e-PORT構想2.0における 新ビジネス創出の流れ



北九州e-PORT構想2.0新ビジネス創出支援補助金

概要①

- ICTを活用した新ビジネスの創出に向けた、ビジネスモデルの実証実験及び実証実験を通じた製品・サービスの事業化の取り組みを促進することを目的としています。

実証支援補助

上限
100万円

ビジネス化することを見据えた実証実験（コンセプト実証、プロトタイプ開発）を支援

事業化支援補助

上限
300万円

試作済の商品やサービスを元に製品化を行い、販路拡大など事業の確立を目指す取り組みを支援

対象事業者 企業／組合／コンソーシアム
補助期間 1年間(4月1日～2月28日まで)

遡り可

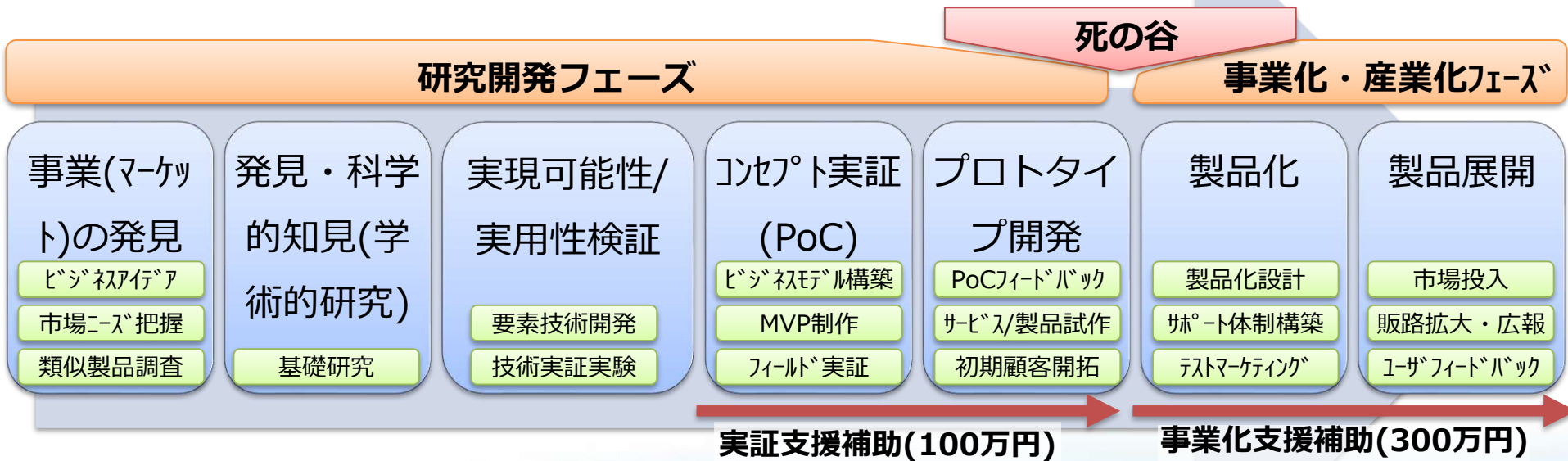
補助率

中小企業 : 2/3以内
中小企業以外 : 1/2以内

※コンソーシアムの場合は代表構成員に応じます

対象事業フェーズについて

- 要素技術の「研究開発」は補助対象にはなりません。
- 実証支援補助の対象フェーズはビジネスモデルの「コンセプト実証(PoC)」および実証を踏まえた「プロトタイプ開発」
- 事業化支援補助の対象フェーズは実証を踏まえた「製品化」および「製品展開」(※実証を行っていない事業は対象外)



※PoC: Proof of Concept(新たな概念やアイデアの実現可能性を示すための簡単かつ不完全な実現化を行うこと)

※MVP: Minimal Viable Product(顧客価値があり、利益を生み出せる最小限のもの)

北九州e-PORT構想2.0新ビジネス創出支援補助金 概要②

<審査基準>

分類	評価項目	実証支援	事業化支援
e-PORT2.0 適合性	<ul style="list-style-type: none"> 社会的意義 地域経済への貢献 オリジナリティ 	◎	◎
市場への 適合	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ有無 競合への考慮 成長性 収益モデルの妥当性 要素技術・サービスの試作状況 	○	◎
計画性・ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> 達成指標の妥当性 実行体制の妥当性 スケジュールの妥当性 予算の妥当性 	◎	◎
将来 ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> 将来への期待 収支計画の妥当性 	○	◎

<対象経費>

大項目	中項目
I 物品費	1 土木・建築工事費
	2 機械装置等製作・購入費
	3 消耗品費
	4 保守・改造修理費
II 労務費	1 従業員費
	2 補助員費
III その他 経費	1 旅費
	2 外注費
	3 知的財産権関連経費
	4 諸経費（会議費、借用費等）

消費税を含みません

北九州e-PORT構想2.0新ビジネス創出支援補助金 平成30年度からの主な変更点について（第1期）

- 「調査研究・実証支援補助」の名称を「実証支援補助」に変更
- 事業化支援補助の上限額を300万円に変更
- 交付対象に市内事業者要件を追加
 - 事業展開先は市内外を問わない
- 事業化支援補助の単独申請を可能に
- 補助率を中小企業と中小企業以外で区分
- 補助対象経費区分の見直し

北九州e-PORT構想2.0新ビジネス創出支援補助金 申請期間・問合せ先

<申請期間>

期間 平成31年4月5日（金）～5月10日（金）

時間 10:00～12:00、13:00～17:00 / 月曜～金曜（祝日除く）

※申請に関する事前相談については、締切1週間前（※連休前）まで受け付けます。
申請したい事業が補助制度の対象フェーズや内容と合致するかなどの
アドバイスを得たい場合は、締切1週間前までにご相談ください。

<問合せ先>

情報産業振興センター 情報産業振興部 担当：糸川、南
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号
TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667
Mail iipc@ksrp.or.jp